

社会資本総合整備計画

平成 2 8 年 1 2 月 日

計画の名称	1 大和高田市全域の快適な暮らしを実現する下水道整備の推進（防災・安全）										
計画の期間	平成25年度 ～ 平成27年度（3年間）					交付対象	大和高田市				
計画の目標											
管路施設の老朽化を改善すべく長寿命化対策を実施し、事故を未然に防止し安全な生活環境を創造する。											
計画の成果目標（定量的指標）											
・大和高田市の下水道法による事業計画区域内の既設污水管渠の長寿命化計画を策定する。（0%（H25）から100%（H27）） ・大和高田市の下水道法による事業計画区域内の既設污水管渠の長寿命化計画を実施する。（0%（H25）から65%（H27）に向上させる）											
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考		
大和高田市の既設污水管渠の長寿命化計画策定する。 = 策定の進捗率（%）=（長寿命化計画策定済延長（m）/長寿命化計画を策定すべき延長（m））（5.5km） = 策定の進捗率（%）=（長寿命化計画策定済延長（m）/長寿命化計画を策定すべき延長（m））（5.4km） 大和高田市の既設污水管渠の長寿命化計画を実施する。 = 実施の進捗率（%）=（長寿命化計画実施済延長（m）/長寿命化計画を実施すべき延長（m））（5.2km） = 実施の進捗率（%）=（長寿命化計画実施済延長（m）/長寿命化計画を実施すべき延長（m））（0.5km）						当初現況値 （H25当初）	中間目標値 （H26末）	最終目標値 （H27末）			
						(0%)	(80%)	(100%)			
						0%	84%	100%			
						(0%)	(43%)	(65%)			
						0%	49%	49%			
全体事業費		合計 （A＋B＋C）	(140百万円) 90百万円	A	(122百万円) 86百万円	B		C	(18百万円) 4百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	(12.8%) 4.4%

交付対象事業

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
	公表の方法

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	下水道	一般	大和高田市	直接	大和高田市	污水	改築	大和川上流流域下水道第二処理区污水管渠長寿命化計画策定	長寿命化計画策定	大和高田市					(22) 10	長寿命化	
1-A1-2	下水道	一般	大和高田市	直接	大和高田市	污水	改築	大和川上流流域下水道第二処理区污水管渠長寿命化計画実施	長寿命化計画実施	大和高田市					(100) 76	長寿命化	
小計（下水道事業）															(122) 86		
合計															(122) 86		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	下水道	一般	大和高田市	直接	大和高田市	新設	大和川上流流域下水道第二処理区污水管渠長寿命化計画実施（支線）	長寿命化計画実施	大和高田市					(18) 4		
合計															(18) 4	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	(1-A-2)と接続する污水管渠(支線)を一体的に整備することで、早期長寿命化促進を図る	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 4 地区すべての長寿命化計画を策定することが出来た。 ・ 若葉町地区の長寿命化計画を実施することが出来た。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（策定の 進捗率）	最終目標値	100.00%	目標値と実績値 に差が出た要因	・ 目標としていた、4 地区すべて長寿命化計画を策定することが出来た。
		最終実績値	100.00%		
	指標②（実施の 進捗率）	最終目標値	65.00%	目標値と実績値 に差が出た要因	・ 緊急度の低い3 地区においては、平成28年度以降実施予定。
		最終実績値	49.00%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・ 指標には載せていなかった、マンホール蓋換工事は2地区完了した。未竣工の2地区も平成28年度に施工予定。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
・ 平成29年度からストックマネジメント計画を進める。					